

松浦佐用媛石魂録

初集卷之三

13
3240
3



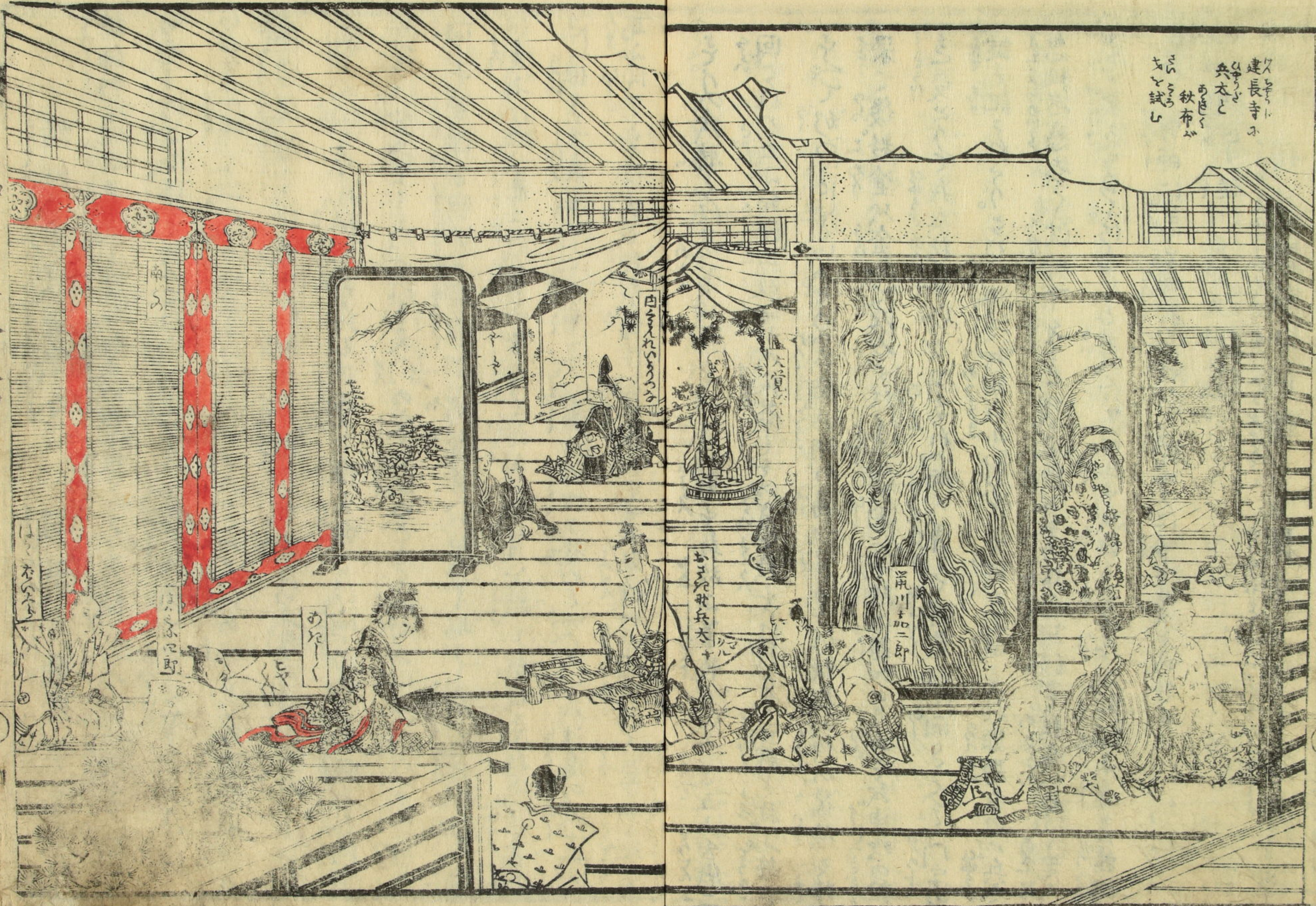
小對面し。こゝれて男房の上吐ふ思多へ時宗朝臣の名代中し。内倉領
長崎平左衛門尉頼綱大紋の袖かゝりて。禪師の次小付し。申次の難多へ
二行小こゝれて未堅あり。又流をの武士六七騎馬山門のけしりに立ち。ゆの
為体次主君に告まうさんとして。禱のそと高くどり。今うくと待居り。は
経小書記の僧磬次鳴りて。こし許不及。崩川嘉二郎の長城野兵次
おて東のさより入り。博多弥屋は秋布をひき。西のかより入り。おのく
南殿次拜し。又禪師次拜して對座せば。難多二人料幣硯次りて。きりて
そのけしりに居り。長崎平左衛門頼綱兵太秋布亦に對ひて。執権の御と付
へ法令五條次讀む。その畧。第一儀次乱るべし。第二喧嘩とる
と。第三貝負の輩助言す。かくは。第四筆戦。二回所謂詩和歌連歌とあり。
と。みりら執権の母子より題次多あり。そのとびくにこれ次用て。速小筆と下

とりの次勝と。是筆次りて。その才次戦。それ故小筆戦といふ。第五小舌戦。二
回。これハ互小和漢の故實次同答し。その才を戦を。それ故小舌戦といふ。第六
と。て。妙のどしといふ。その景迹。江湖の場に異る。頼綱八件の箇條を續
果て後粉塗次金めて。なぐられ。箱次用て。詩の題次。出を。申次の難
多受とりて。兵太秋布に。うちあはれ。兩人等しく。押戴。て。用。と。え。ふ。門。字。の
謎と記されり。この門の字。次明白。い。ら。じ。て。謎。り。て。賦。と。難。題。あ。れ。ハ。兵。太
忽地迷惑と。沈吟。中。又。と。と。も。終。小。その。趣。向。次。は。と。秋。布。ハ。ゆ。く。案。入
と。氣。も。あ。く。は。し。く。と。書。つ。て。は。知。さ。難。多。と。り。次。て。頼。綱。小。通。ハ。頼。綱
これを禪師に呈す。禪師と。お。り。ら。高。中。に。吟。じ。ま。ふ。その。詩。也。

門字謎
惜花間紅日西墜
閑朱戸不見多才

口言

建長寺
兵太
秋布
と
試
い



倚闌于東邊隱々

悶無心懶傍粧臺

禪師判して云花間一惜紅日の西ふ墜こゝと云間しつを字眼と云間

しつ字の目を墜と云これ門の字なり朱戸を閉て多才と云と云は閉

しつを字眼と云閉と云しつ字の才云えんこれ又門の字と云は闌于倚

東邊隱隱とは闌于の闌字眼と云。闌としつ字の東から云と云

これも又門と云は閉て心なれも粧臺不傍は懶とは同としつを字眼と云は

しつ字に心なれと云は。これも又門の字と云は。四句の中に門の字四箇

隠して。義理分明実ふ妙性いと稱賛まへ。おのくぬく感して已む兵太既

に負ふければ嘉二節類ふ魚燻て潜ふその背を敲て催促と云は兵太の只

はし俛きて憂もせと秋布字一番の詩化は勝れと云は注進の武士一人

馬ふ閃了と云ら騎て鞭を鳴し足撥はと云は軌槍の館と云は驀直に馳去

けり。さて今度ハ和奇なれ南殿より歌の題は出さるれ一字題二字題

あはれなれば。紀州の郡七つ歌の中ふみ入れと云あり。これいねれ夏秋布

が和奇の浦ふいふねほでも紀の國やと詠りし秀逸なはひはて。今この難

をなしむふなれば。紀州の七郡ハ伊都郡那賀郡名草郡海部郡在田郡

牟婁郡と云る。これ又七十一字にふみ入れ。容易ふめれば兵太と

頃の思按ふ及ぶ。公はしと云ええと云は秋布のやよみおとらと云は

掲みか。なごすれふ嘉二節はる。荒瀬類ふ咳と云は促せとも兵太の遠ふ

をいど。秋布中がて書と云りて。短冊はしおは博多倍大と云は

がら南殿ふ進。しつを文臺ふ受乗して讀めげま。その歌は。

いとなぐれ夜のうぐさほとめまのめりと云はひとく人むあ位もや

三十一文字ふ七つの郡をよみ入れ。奇の分明なれ南殿のしつもと云は

伊都郡那賀名草海部在田日高牟婁郡

在田

日高

人々の舌を吐て感吟し。注進の武士あかきと告げて伴の詠草は遠く世に久一人
馬ふらふ乗て。飛が如くに走りしね。されば長城野兵太の歌合も負ふえ
ば。うらみのいふ。驚くがごとく。赤うらみのと。本意か。ことに恨あが。よ長城野兵
うらみ申して。あぐ。嘆息あ。りけ。かくて。第之番ふ及ひて。筆戦は。是限り
なり。今度の連歌あて。わりし。う。長崎頼綱。席とす。めて

目くれせぬ夜は誰がの月

としひかひり。時ふ秋布声ふ意して。

花ふくが日もあるそのみえとらとら

とげんく。亦これ當意時妙あり。目くれせぬ夜の飽もせぬ。誰がの月
あ。いひ。さ。め。ら。れ。と。い。ふ。を。ら。け。て。花。ふ。く。り。も。あ。る。日。も。あ。る。み。え。と。ら。と。ら。と。し。と
つ。て。春。小。暗。く。み。え。け。て。い。り。申。次。の。難。多。の。連。歌。が。書。つ。て。騎。馬。の。武。士

ふ。通。守。し。り。れ。ば。等。と。番。の。注。進。馬。相。い。れ。雷。が。飛。び。て。馳。走。行。と。に。い。ま。り。と
長。城。野。兵。太。の。と。度。の。筆。戦。小。遣。か。頼。綱。い。と。苦。く。志。氣。多。く。あ。く。嘉。二。郎
兵。太。が。入。る。り。あ。め。く。形。る。み。好。ま。て。は。し。が。れ。條。が。え。め。げ。り。ひ。か。ひ。を。なく。
と。五。の。未。通。女。に。依。伏。せ。られ。巧。拙。も。且。く。闘。て。一。首。半。句。も。け。ら。め。た。及。び。と
以。の。好。み。れ。越。度。あ。こ。そ。と。恥。ぢ。れ。ば。兵。太。潜。に。冷。笑。て。文。人。才。子。に。遅。吟。あり。
又。早。吟。あり。左。思。が。三。都。の。賦。ハ。十。年。の。苦。心。が。積。て。と。め。て。成。就。し。補。衛。の。難。詰。の
賦。ハ。草。稿。が。更。だ。して。即。座。に。草。と。る。せ。り。あ。れ。も。い。ば。と。勝。り。い。づ。れ。を。か。ま
と。れ。と。せ。と。某。元。王。祭。が。宿。構。の。議。を。恥。れ。故。お。卒。命。に。筆。を。下。さん。と。い。ふ
り。て。遅。吟。なり。色。し。舌。戦。し。て。一。回。答。せ。ば。た。え。て。口。が。開。く。せ。ら。れ。じ。と。い。ふ。は。加。二。郎
と。る。は。陪。と。お。が。ら。は。り。と。も。と。お。ひ。し。て。申。頼。多。く。あ。る。は。り。頼。綱。と。い。ふ。は
同。答。あ。る。は。り。と。て。舊。の。席。に。あ。り。著。ハ。執。筆。二。人。左。右。あ。ら。れ。て。こ。の。同。答。と。記

此の約めとなれ故うり。はれがすめめ。すと啼て。むれをなれ。すめめ
 と名づく。つむらふめは。古く食ひて。是も群れをなれ。はむらふめ。中。稱あ
 へ。つむらふ。略稱。それをあは。略して。つむらふ。も稱たり。ひがめ。山が
 め。推て。あり。あす。へ。し。といふ。兵太。とあは。ま。け。魂。を。逞。して。小。膝。が。さ。め。
 といふ。それ。あ。ても。め。れ。し。あ。ら。ば。う。ら。ひ。と。ほ。ら。だ。と。さ。か。さ。な。ん。と。は。
 この字とそえて。又。出。お。ま。り。ぐ。と。め。り。と。れ。も。ほ。た。故。め。り。や。と。同。お。
 秋。布。答。て。件。の。ま。り。も。は。菓。が。く。あ。る。の。ま。實。中。な。れ。は。その字とそえ
 て。呼。び。け。り。う。ら。ひ。と。ら。愛。食。菓。あ。て。ら。れ。じ。く。菓。食。ふ。の。謂。なり。又。不。と
 と。た。ま。ま。び。の。ま。り。子。ま。く。稱。美。の。智。く。彼。が。啼。声。の。ほ。と。く。と。め。れ。は。ほ。と。と。さ。と
 といふ。是。は。と。く。な。れ。と。の。あ。を。界。せ。り。か。く。さ。ら。ら。く。と。鳴。り。て。名。づ。け。さ。と
 と。ら。け。く。と。鳴。り。て。名。づ。け。な。ら。び。と。通。ひ。て。さ。と。い。ふ。も。け。と。い。ふ。も。その
 う。後。の。お。は。じ。又。さ。ら。ら。く。さ。の。草。ま。あ。に。さ。ら。く。虫。な。れ。が。その字とそえて。啼。後。
 襲。を。さ。と。と。訓。了。あ。め。と。約。ま。さ。と。あ。れ。が。なり。といふ。その論水の流れが
 ごとく。雲。む。ら。り。も。委。る。り。れ。の。兵。太。の。ま。る。と。汗。を。流。し。いと。朽。を。く。は。は。ん。
 とも。その。才。敵。が。と。けれ。が。これ。あ。ら。へ。有。て。け。り。か。く。て。軌。筆。二。人。との。同。答。を
 書。留。め。騎。馬。の。武。士。なり。て。時。宗。朝。長。小。注。進。一。舌。戦。二。回。に。の。果。さ。り
 け。し。の。博。多。派。は。即。の。や。う。や。く。に。安。堵。て。いと。飲。け。び。あ。ん。え。と。れ。が。加。二。郎。の
 堀。く。あ。ひ。て。頰。の。わ。ら。う。は。啼。く。と。に。ま。る。む。ら。り。憤。れ。と。い。ふ。も。終。る。その。か。ひ
 は。か。く。て。南。殿。と。秋。布。の。迹。あ。て。今日。の。ま。り。思。ひ。よ。り。の。技。群。あり。せ。よ。比
 なた。才。女。ら。の。相。列。も。あ。ら。ら。び。ら。と。感。ド。お。は。と。び。と。て。只。願。願。償。多。く
 は。禅。師。頼。綱。倍。々。以下。の。軍。も。又。これ。が。襲。と。已。と。只。瀬。川。と。長。城。野
 の。こ。い。う。胡。も。さ。ら。ら。に。け。れ。さ。ら。極。小。南。殿。と。大。覺。禪。師。小。別。が。告

此の約めとなれ故うり。はれがすめめ。すと啼て。むれをなれ。すめめ
 と名づく。つむらふめは。古く食ひて。是も群れをなれ。はむらふめ。中。稱あ
 へ。つむらふ。略稱。それをあは。略して。つむらふ。も稱たり。ひがめ。山が
 め。推て。あり。あす。へ。し。といふ。兵太。とあは。ま。け。魂。を。逞。して。小。膝。が。さ。め。
 といふ。それ。あ。ても。め。れ。し。あ。ら。ば。う。ら。ひ。と。ほ。ら。だ。と。さ。か。さ。な。ん。と。は。
 この字とそえて。又。出。お。ま。り。ぐ。と。め。り。と。れ。も。ほ。た。故。め。り。や。と。同。お。
 秋。布。答。て。件。の。ま。り。も。は。菓。が。く。あ。る。の。ま。實。中。な。れ。は。その字とそえ
 て。呼。び。け。り。う。ら。ひ。と。ら。愛。食。菓。あ。て。ら。れ。じ。く。菓。食。ふ。の。謂。なり。又。不。と
 と。た。ま。ま。び。の。ま。り。子。ま。く。稱。美。の。智。く。彼。が。啼。声。の。ほ。と。く。と。め。れ。は。ほ。と。と。さ。と
 といふ。是。は。と。く。な。れ。と。の。あ。を。界。せ。り。か。く。さ。ら。ら。く。と。鳴。り。て。名。づ。け。さ。と
 と。ら。け。く。と。鳴。り。て。名。づ。け。な。ら。び。と。通。ひ。て。さ。と。い。ふ。も。け。と。い。ふ。も。その
 う。後。の。お。は。じ。又。さ。ら。ら。く。さ。の。草。ま。あ。に。さ。ら。く。虫。な。れ。が。その字とそえて。啼。後。
 襲。を。さ。と。と。訓。了。あ。め。と。約。ま。さ。と。あ。れ。が。なり。といふ。その論水の流れが
 ごとく。雲。む。ら。り。も。委。る。り。れ。の。兵。太。の。ま。る。と。汗。を。流。し。いと。朽。を。く。は。は。ん。
 とも。その。才。敵。が。と。けれ。が。これ。あ。ら。へ。有。て。け。り。か。く。て。軌。筆。二。人。との。同。答。を
 書。留。め。騎。馬。の。武。士。なり。て。時。宗。朝。長。小。注。進。一。舌。戦。二。回。に。の。果。さ。り
 け。し。の。博。多。派。は。即。の。や。う。や。く。に。安。堵。て。いと。飲。け。び。あ。ん。え。と。れ。が。加。二。郎。の
 堀。く。あ。ひ。て。頰。の。わ。ら。う。は。啼。く。と。に。ま。る。む。ら。り。憤。れ。と。い。ふ。も。終。る。その。か。ひ
 は。か。く。て。南。殿。と。秋。布。の。迹。あ。て。今日。の。ま。り。思。ひ。よ。り。の。技。群。あり。せ。よ。比
 なた。才。女。ら。の。相。列。も。あ。ら。ら。び。ら。と。感。ド。お。は。と。び。と。て。只。願。願。償。多。く
 は。禅。師。頼。綱。倍。々。以下。の。軍。も。又。これ。が。襲。と。已。と。只。瀬。川。と。長。城。野
 の。こ。い。う。胡。も。さ。ら。ら。に。け。れ。さ。ら。極。小。南。殿。と。大。覺。禪。師。小。別。が。告

うしろ
席二郎
兵太
鎌倉
追



えい
信太
町

長
と
久
彌

北
條
時
宗
の
えん

嵐
川
流
る

志
乃
助
兵
太

大
和
吉
世
巻
之
四

九

謀叛が起り、白杆河野が徒これ、京鎌倉が攻めて、径高武家の執権
らんと計較せり。これよよとて、松浦景隆、大友藏人、菊池源田、今
戦し、一時小雄雄と決せん、すれ処、牛淵九郎清繩、夥の軍、兵を遣ひ、肥前國
平戸、嶋、押渡して、牛角の勢、張り、その機、変極り、はと、安、い、と、討、と、は
向ふ、と、い、ひ、し、た、大、子、形、を、と、と、書、たり、け、れ、時、宗、一、覽、め、つ、て、俄、頃、小、一、族、の、大
小、名、田、の、官、領、頼、綱、以、下、の、改、人、評、定、衆、を、召、集、合、兩、六、波、羅、の、連、署、と、披、露、
て、宣、ひ、け、れ、往、小、時、輔、謀、反、の、と、れ、西、國、の、逆、徒、忽、地、に、比、し、も、徑、高、一、人、の、切、由
め、は、時、宗、が、洛、の、敵、と、討、た、よ、れ、り、も、う、れ、を、徑、高、武、勇、が、濟、り、京、鎌、倉、と、亡
と、く、浮、雲、の、富、貴、が、極、へ、と、い、ふ、と、も、天、い、そ、う、許、と、入、れ、天、慶、の、純、友、の、威、が、九
州、を、振、つ、と、り、も、身、死、と、葬、れ、地、は、す、い、と、や、徑、高、を、や、今、一、員、の、大、將、が
は、向、る、が、一、舉、と、く、滅、ぶ、と、宣、ひ、み、ま、諾、も、小、仰、理、小、是、れ、と、も、應、ひ、れ、る、の

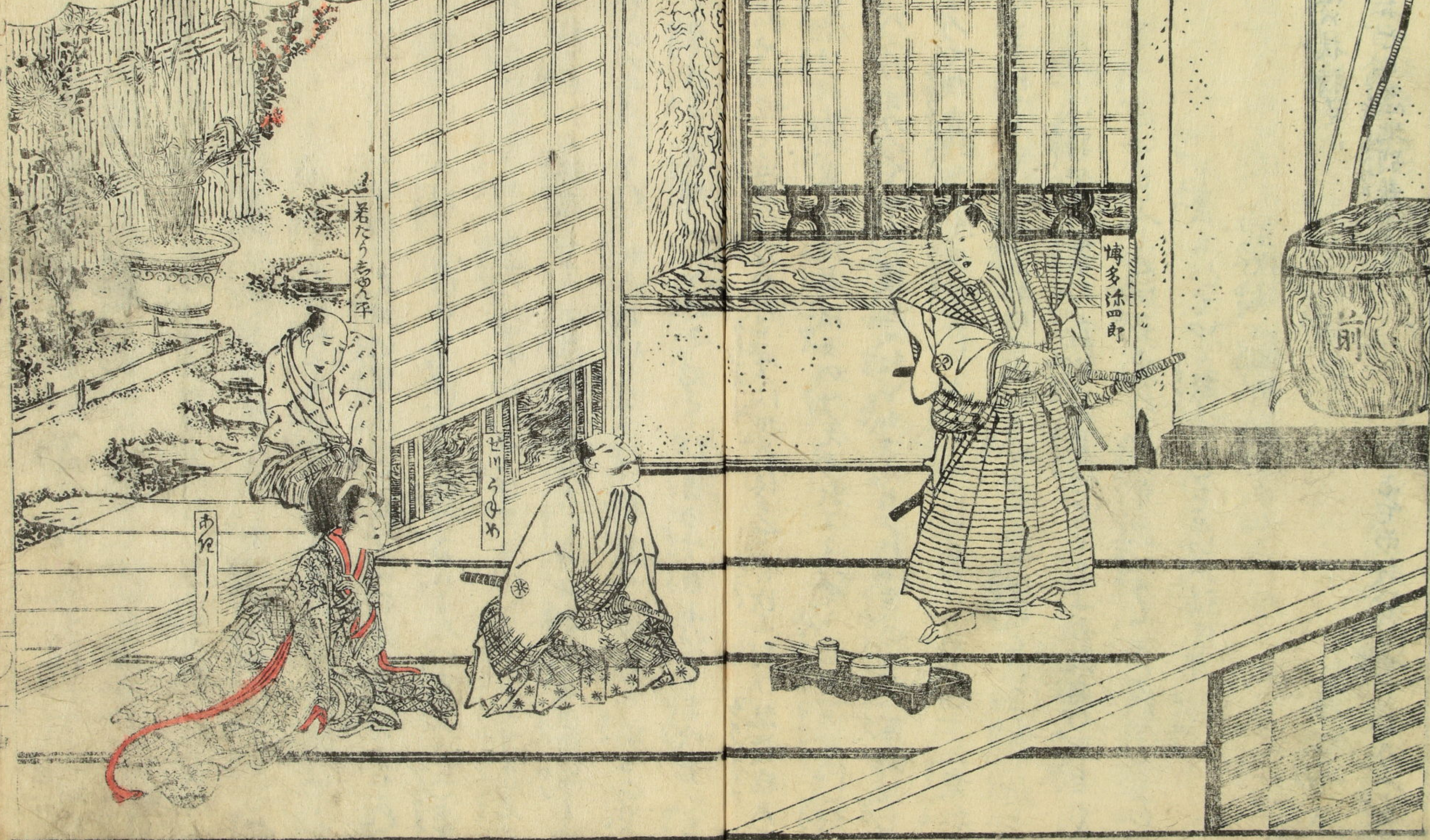
と、れ、時、宗、朝、臣、と、い、ひ、中、が、信、と、え、廻、り、て、秋、田、城、二、町、実、政、が、ち、か、く、招、れ、今、日、より
足、下、が、り、て、鎮、西、の、守、護、と、す、也、い、も、れ、肥、前、國、へ、發、向、し、て、ほ、が、牛、淵、と、討、ち
ほ、牛、淵、が、亡、る、が、徑、高、を、旭、に、む、う、霜、の、如、く、入、り、と、く、出、陣、め、れ、は、と、い、し、と
が、さ、か、つ、て、上、総、へ、お、任、ぜ、り、れ、實、政、が、れ、れ、義、を、く、諸、國、の、軍、勢、が、催、促、せ
は、り、ま、は、に、及、ぶ、と、い、れ、り、只、実、政、が、も、勢、と、す、と、い、ふ、と、く、今、夜、由、比、が、濱、より、和、政
が、一、心、願、く、は、文、學、武、畧、を、長、く、せ、り、の、次、一、人、属、れ、れ、と、く、実、政、が、輔、と、さ、
と、め、り、し、と、い、は、う、い、ふ、と、く、時、宗、が、は、尋、思、ち、て、近、臣、瀨、川、采、女、吉、次、の、幸、を、は
弱、け、と、い、と、忠、義、拔、群、也、と、い、て、智、勇、双、び、せ、り、の、さ、れ、へ、この、男、を、れ、て、ゆ、れ、と、い、
吉、次、が、目、今、と、さ、と、う、り、い、ち、ま、し、り、と、い、宣、へ、が、實、政、斜、な、り、ん、故、へ、領
當、り、此、く、宿、所、お、立、か、り、て、老、黨、草、野、之、節、ホ、に、縁、由、が、説、ち、り、今、夜、月
の、出、れ、比、及、小、纜、を、解、ぶ、と、い、て、と、れ、り、の、も、と、う、り、と、く、西、國、出、陣、の、用、意、と、い、ふ、

一ノ口

勢都合二百餘騎由比が濱あき著到を記し。八九艘の大船あつり乗て其
 日の暮れに舟をりつれ。この実政ハ時宗朝臣の曾祖なりし北條泰時の子
 龜谷実泰の嫡男。稱名寺実時の二男に。軌控の氏族多しれ中に。親
 人なれば。対宗これヲ擇出して。法西の守護とし。よめつら上総介に任じて。経高
 追討の大將とほし。まう。つ。小対宗の目鑑と違つて。實政只半日か同軍装
 て鎌倉に。出まされ。人の及が。た。う。と。親も疎れも。嘆賞され。う。う
 了。し。ご。の。日。瀬川采女吉次の出仕せられ。りて。彼件のみ。や。秋布を娶
 了て。う。中七日に及び。稀なれば。休暇なり。つ。ば。む。ゆ。れ。や。に。お。は。え。其
 口の夕られ。小夫婦端ら。か。う。物。と。咲。い。れ。れ。庭。の。白。菊。が。泳。め。け。暮。ゆ。く
 秋。布。惜。し。折。し。も。秋。布。が。父。博。多。弥。四。郎。馬。次。門。内。に。乗。と。て。瀬。川。が。若。黨
 村。次。俊。平。に。業。内。に。連。忙。と。入。ま。れ。む。の。じ。の。夫。婦。え。か。へ。り。て。と。ま。ひ。し。ご

と。く。や。そ。ら。む。を。立。て。迎。日。は。弥。四。郎。上。に。押。さ。り。て。吉。次。が。對。ひ。軌。控。猛。乃
 仰。め。り。謹。ぶ。せ。れ。よ。太。宰。の。経。高。謀。反。の。せ。え。あ。れ。ま。う。て。上。総。公。實。政。の。討
 て。の。大。將。次。り。つ。ら。う。今。夜。鎮。西。へ。船。と。出。さ。る。あ。う。れ。お。實。政。頼。ふ。軍。師。次。を
 ま。う。ひ。あ。う。て。便。吉。次。が。て。軍。監。と。し。實。政。の。跡。と。し。ま。う。ん。と。あ。り。い。そ。れ。衆。船
 の。用。意。い。ま。う。れ。し。申。付。れ。音。が。の。ご。と。と。述。ぶ。け。れ。吉。次。を。兼。て。近。臣
 外。様。と。な。う。れ。中。に。弱。輩。の。某。が。お。仰。が。稟。あ。る。こ。と。あ。よ。お。れ。舟。の。面。目。も。
 時。次。移。さ。と。用。意。い。ま。う。し。と。回。答。さ。れ。よ。秋。布。忽。地。う。ち。ま。れ。し。が。又。ま。ひ
 か。し。けん。を。か。げ。れ。仰。と。稟。あ。ひ。て。い。と。教。く。こ。と。と。い。ふ。法。伊。郎。の。秋。布。が。包。の
 中。に。推。量。あ。て。声。が。低。し。吉。次。猛。小。西。國。へ。赴。く。と。も。つ。れ。か。て。め。れ。れ。心。の
 お。よ。ぐ。え。泣。か。扶。持。と。し。吉。次。も。後。中。と。い。ひ。ま。あ。め。れ。つ。か。世。思。替。烟。火
 ぼ。して。僅。ふ。七。日。忽。地。別。離。ふ。及。ぶ。の。親。の。患。疾。あ。て。あ。れ。つ。か。頼。く。ま。り。あ。ま

跡四郎
瀬川が家へ
使して
時宗の命と
停ん



若なりちん平

博多赤四郎

あは

大和言集卷六

十三

名残(なごり)はしどもいづかえふ。いりねははらふ。武夫(ぶふう)の妻(つま)とすえてあらしめり。

第六

涙(なみだ)が合(あ)せて節婦(せつふ)義男(ぎなん)を送(おく)れ

かへりけは処(ところ)に難兵(なんべい)一人喘(あせ)々走り身(み)つ。内(うち)より叫(こゑ)てあらしめり。今夜(こんや)月(つき)くりに影(かげ)を出(い)でて西國(さいごく)へ赴(まゐ)りて。目今(いま)由比(よひ)が濱(はま)に軍兵(ぐんべい)を集合(しゅうごう)せり。瀬川(せがわ)氏(うぢ)いと逢(あ)はれ。とくまあり多(おほ)くといふも果(は)ど。舊(ふる)の道(みち)へ走(は)なれと吉次(よしじ)遙(とほ)ふこれを見て。さき実政(じつせい)今夜(こんや)鎌倉(かまくら)を去(い)るなり。やう後(あと)直(ただ)しとて。衝(つ)と立(た)ちあがり。日耳(にちじ)床(とこ)に飾(かざ)りて。父(ちち)が紀念(きねん)の黒皮(くろかわ)威鎖(ゐさ)を取(と)りて。投(な)げられ。秋布(あきふ)はひく。あく。今(いま)も撓(たが)りて。星兜(ほしづかぶと)の雄手(おんど)の服(ふく)より。はし。出(い)で。吉次(よしじ)兜(かぶと)の緒(いと)を。清(きよ)きは。秋布(あきふ)は。はし。おと。太刀(たち)より。長(なが)は。旅路(りょろ)やとて。と。あ。あ。と。妹(いもうと)と。脊(せ)の。ひれの。撞(つ)く。ハ。曉(あけぼの)な。と。入相(いりあひ)の。声(こゑ)を。あ。あ。り。その。隙(ひま)に。俊平(しゅんぺい)が。月毛(つきげ)の。馬(うま)を。あ。あ。て。縁(えり)へ。ら。近(ちか)く。幸(さい)せ。と。極(ごく)も。あ。あ。せ。と。吉次(よしじ)が。閃(ひら)くと。乘(の)り。綱(つな)を。あ。あ。て。秋布(あきふ)を。あ。あ。と。し。

